

## 令和2年度 第2回学校運営協議会議事録

■実施日時：令和2年10月24日 9:30～11:00

■実施場所：会議室

■出席者：委員5名・校長・事務局（教頭2名・事務長）

### I. 会長挨拶

会長が欠席のため、副会長から会議開始の挨拶

### II. 校長挨拶

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、5月の登校日、6月上旬の分散登校を経て、6月15日より再開となった。

生徒・教職員のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒・消毒作業の徹底などにより、本校の生徒・教職員に感染者はいない。引き続き感染症予防対策に努めていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は学校行事にも波及し、10月1日の体育祭は生徒・教職員のみでの実施となった。生徒たちが一生懸命取り組む姿が印象的であった。できる限り学校行事を実施し、生徒の成長を支援していきたい。

高卒における就職活動は、例年の1ヵ月遅れの10月16日に解禁となったが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、採用結果は例年より厳しい状況にある。

令和3年度進路希望調査では、各エンパワメントスクールはどこも厳しい状況である。ただ、本校は1倍を超える数値となっているが、例年この調査後、減少する傾向にある。本日開催するオープンスクールには、中学生126名・保護者98名の計224名が参加予定になっており、本校に興味をもつ生徒を確実に受験生として確保できるように取り組む。

PTA活動も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ほとんど活動ができていなかったが、10月15日に外周道路清掃活動を実施した。

校内では9月には教育実習生を4名迎えた。北淀高校出身ではない実習生も受け入れた。また、10月20日には府教育庁が主催する「居場所カフェに関する連絡会」を開催するなど、新型コロナウイルス感染症の影響下でもできることをしっかり取り組んでいけたらと考えている。

### Ⅲ. 協議（事務局）

#### ① 令和2年度学校経営計画について

指標については、「学校教育自己診断」「授業アンケート」を用いる。

「学校教育自己診断」については12月、「授業アンケート」は8月・12月に実施する。

現在の進捗状況については、8月に実施した「授業アンケート」をもとに説明する。

・めざす学校像は、生徒が「できる・わかる・のびる」を実感する学校である。

中期的目標について昨年度とめざすところはほぼ変わらない。

「本年度の取組内容及び自己評価」の項目から主なところを説明する。

・「1 確かな学力の育成する」について、本校では「わかる授業」「面白い授業」を実践するため、今年度も9月4日全教員を対象にスキルアップ研修を実施した。

(1) 授業アンケートにおいて、理科が昨年度より数値が向上している。その要因として授業アンケート後の振り返りシートを活用し、実験等を多く取り入れ、生徒理解に努めたことがあげられる。

(2) アクティブラーニングが実施できているかについては、授業アンケートでも一定の評価が得られている。今後も継続して取り組んでいく。

(3) 講習については、進学特別講習（国数英）を実力テスト前に9時間実施した。

・「2 進路を実現するため、系統的なキャリア教育を推進する」について、(2) 検定試験について、1回目の英語検定を10月3日本校で実施し、21名が受験した。

また、情報試験も6月に実施し、32名が受験し、26名が合格した。

・「3 生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な生徒指導の推進する」について、(1) のア遅刻については、1年生が増加している。その要因は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響で生活習慣の乱れ等、スタートが円滑にできなかったことが大きく、今後、修正が必要になる。2年生は昨年度とほぼ同数、3年生は大幅な減少傾向にある。

欠席については、数値的には大幅に減少しているように見えるが、新型コロナウイルスの影響で発熱等がある場合、出席停止となるため、欠席する生徒は遅刻と同様に1年生で増加している。一方で、2・3年生は減少している。

イ PTA 活動に関しても新型コロナウイルスの影響でできる活動のみ取り組む。

ウ オープンスクールに参加する生徒を受験生として確保していく。

・「4 自尊感情、自己有用感を育む教育を推進する」の(2)の特別活動のところにある、部活動加入率については、今年度は38%となり、昨年度より増加している。

・「5 教職員の資質向上と校務の効率化を推進する」の

(1)(2)については、初任者の研究授業を11月6日に実施し、資質向上を図る。

(4)(5)にある超過勤務について、月平均20時間くらいであり、今後も業務の分散化と効率化を今後もすすめていきたい。

#### <ご意見>

(委員)3年生の数学のテストが難しく、欠点がたくさんでていると聞いたが、わかる授業とは連動していないように思えるがどうか。

(事務局)授業での工夫やテスト問題の難易度の設定を再考するよう、教科に伝え、次回以降のテストに活かす。

(委員)エンパワメントスクールは、1年次にはモジュール授業などでしっかり学びなおしができ、「わかった」を実感できるが、2年次から通常授業になり、学習の内容も難易度があがり、難しい側面もある。その点を解消することが重要である。

(事務局)本校では、2年次にも習熟度別に授業を実施するなど、2年次問題の解消に向けて取り組んでいる。今後もさらなる改善を行っていきたい。

(委員)授業アンケートにおいて、生徒の経年変化の詳細を知りたい。

(事務局)次回の運営協議会には準備して提示する。

(委員)遅刻や欠席を減らす取組みにおいて、先輩が後輩を指導するなど、部活動での影響はあるのか知りたい。

(事務局)部活動よりは、同学年の生徒間の影響のほうが大きい。学年団がどう伸ばしているかが大切。

(委員)対面でのオープンスクールが開催されてよかった。広報活動が重要になる。新型コロナウイルス感染症による影響も出てくるかと思うが、対面の良さを活かしつつ、今後ZOOM等のオンラインを活用する予定はあるか。

(事務局)通信環境を含め、考えていきたい。

#### IV. その他

本年度の学校運営協議会日程について（事務局）

第3回は令和3年1月30日（土） 午前9:30から11:00まで

上記の日程を確認した。